



調査結果を指導に生かす

学校長 村越 新

全国学力学習状況調査、埼玉県学習状況調査の結果が夏休み中に届きました。結果については、本校HPにてその一部を公開しているところです。

結果については分析・研修、そして**指導方針**の確認を職員で行いました。

大きく**3つの課題**が認められたので、意識して指導していくこととしました。



【国語】 条件を満たした文章を作る問題の正答率が低い

例 「以下の三つの条件を満たした、まとめを書きましょう」
「以下の三つの条件を満たす、質問を考えましょう」

【算数】 考えた理由を書く問題の正答率が低い

例 「どちらの三角形が大きいでしょうか。その理由も書きましょう」
「長さはどれくらいになりますか。式や言葉で説明しましょう」

【共通】 無解答率が高い

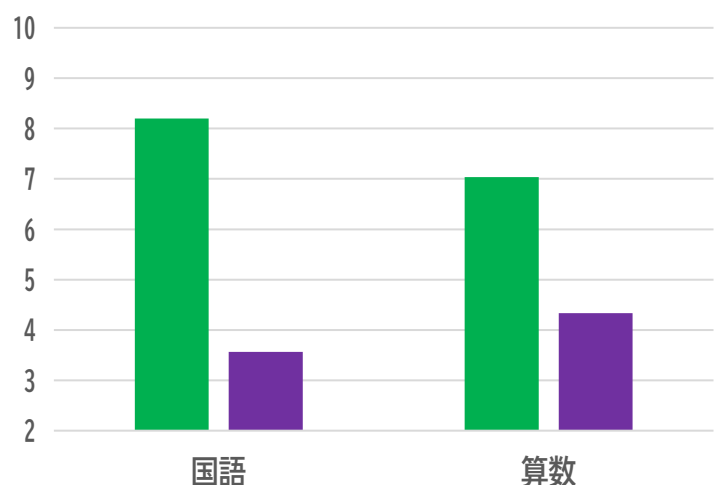
下のグラフは、県調査の無解答率の平均を比較したものです。国語では5%、算数では3%県の平均を上回っていることが分かります。

いくつかの条件を満たすような作文をしたり、まとめをしたり、発表をしたりする活動を増やすこと。答えだけではなく、その理由を表現させる機会を増やすこと。

そして何より、どんなプリントでも最後までやり切る習慣をつけてあげることが、今年の調査が我々に示唆してくれた指導改善のポイントだと考えます。

ご協力をいただけると幸いです。

無解答率平均 (小4~小6)



左緑が扇小、右紫が県

読書の日、家庭学習の日

本校では、毎月4日を「読書の日」、10日を「家庭学習の日」としています。これは、平成25年に制定された本校独自の取り組みです。当時、40周年を翌年に控え、学力向上策として決められた日です。当時のキャッチフレーズは次のものです。

「本^{よん}4で、本^{とう}10の学力」

当時の精神である「この日は学校からの宿題は出さない」「子供たちが自主的に学びを習慣化させるように大人が見守る」ことは、伝統的に根付いています。

この貴重な二日に、新たな価値付けをしていきたいと考えています。それは、メディアの使用を我慢することです。

「5つの我慢で10倍成長」

「5つの我慢」とは、次のものです。この5つを我慢して、1つでもやらなかったり、時間を減らしたりすれば、いつもより5倍以上素敵な時間になると考えます。

- 1 テレビ・動画を見ない
- 2 ゲームをしない
- 3 メール（SNS）をしない
- 4 インターネットを使わない
- 5 大人に聞かない（子供に口出ししない）

毎月4日と10日は、少しずつメディアを我慢する日にしていきましょう。

第49回運動会スローガンが決まりました

最後まで 一致団結 笑って勝利

